学校だより７月号

# 小さな窓

令和元年　７月　１日（月）
三　鷹　の　森　学　園
三鷹市立高山小学校
校　　長　　吉村　達之

## 自然教室に「いってきます！」

校長　吉村　達之

いよいよ明日から、自然教室が始まります。毎年、６年生が、五小の児童とともに、三鷹市の施設のある長野県川上村で、様々な活動をしながら３泊４日を過ごします。

多くの小学校では、５年時と６年時の２回（各１～２泊）に分けて宿泊行事を行い、しかも、学校単独で実施するのが普通です。しかし、小・中一貫教育に取り組む三鷹市では、どの学園の小学校でも、同様な形式で自然教室を実施しています。

今年、三鷹の森学園は、ご存じのとおり、開園１０周年を迎えます。そこで、３校の校長で話し合い、この１０周年を機に、これまで以上に３校のつながりをさらに深めていく年にしようと考えました。

小学校では２校（高山小と五小）に分かれている三鷹の森学園の小学生も、市外に出る児童を除いて、大半の児童は第三中学校に通います。普通は、異なる小学校から来た生徒同士が初めて出会うわけですから、同じ小学校出身の生徒ごとに集まり、違う小学校の友達とは、なじむのに時間がかかります。私が中学校に勤めていたころ、１年生を担任するたびに、違う小学校出身同士の生徒の関係づくりには苦労しました。

しかし、三鷹の中学校の様子は異なります。なぜなら、小学校ですでに交流を深め、違う小学校出身でも名前を知っている友達がたくさんいます。入学式で歌う学園歌は、６年間歌い続けてきた学園歌ですから、違う小学校出身の同級生や上級生と一緒に、元気よく一緒に歌うことができ、一体感を味わえます。もう、これだけで、よく言われる中１ギャップは、ぐっとハードルが低くなり、それは都内の他の地区と比較した様々なデータからも読み取ることができます。

このような良好な関係をさらに押しすすめるために、五小とも相談して、今年度から自然教室の内容をいくつか変更しました。まず、ここ数年、２校別々に行っていた農業体験を、２校の児童が一緒に、合同班を作って様々な課題を協力しながら乗り越える、アドベンチャーラリーという活動にしました。丸一日（２日目）、五小の友達と一緒に、様々な困難を乗り越え、達成感を味わえる活動をします。そのために、初日の博物館の見学や体験学習も合同班で行い、ともに学び、活動する楽しさ、そして大変さも経験します。さらに、星空観察やキャンプファイヤーなども当然一緒に行います。一部の行程では、それぞれの学校の特色を生かした活動を残しましたが、全体の８割は一緒に行う活動です。来年度は、さらに一体化を目指します。

事故やけがのない、安全で楽しい自然教室となるよう、引率教員全員で力を合わせて行ってまいります。

## ～事務室からのお願い～

７月の給食費の振替（引き落とし）は、7月１１日（木）です。前日までに、振替（引き落とし）口座の残高が不足していないか、必ずご確認ください。また、同様に、8月１３日（火）にも振替（引き落とし）がありますので、連休前の９日（金）までに振替（引き落とし）口座の残高が不足していないか、ご確認ください。

## ～学校からのお知らせ～

①　学校では、地域活動や社会教育等の活性化の推進を踏まえ、市教育委員会と連携しながら、教育活動に支障のない範囲で、学校施設を地域や一般の方にも開放しています。多くの方にしっかりルールを守って使用していただいている半面、一部、施設の破損（無申告）や後片付けの不備（やりっぱなし）など、教育活動に支障が出るような使い方がされている現状があります。このようなことが続くと、学校施設の開放を中止せざるを得なくなります。各団体の皆様、特に代表者の方におかれましては、適切な施設利用をお願いいたします。

②　報道等でもご存じのとおり、家庭内における虐待により、幼い子どもが命を落としたり、心身に傷を負ったりする事件が絶えません。学校では、児童に虐待に起因すると思われる異変（殴られたり蹴られたりした跡や子ども本人からの訴えなど）があった場合、警察や児童相談所等の関係施設に即時通報する義務があるため、ご家庭には確認をせずに通報することがあります。子どもの命を守るため、学校とご家庭と地域の皆様で、連携した取組ができればと思います。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

③　保護者全体会でもお伝えしましたとおり、文部科学省の通達も踏まえながら、会議や研修会等の時間などにあてるため、今後、水曜日の５時間目や木曜日の７時間目の授業が無くなる日があります。その場合、お子様の下校時刻も早まりますので、毎月発行される学年通信の月間予定表のご確認をお願いいたします。

＜１学期末～２学期はじめの行事予定 ＞　　※今年度から２学期始業式が１週間早まっています。

７月１日（月）全校朝会　保護者会（１年・５年）
自然教室前検診（６年）
２日（火）～５日（金）自然教室（６年）
４日（木）都学力調査（５年）
給食試食会
５日（金）水生生物調査（５年）
８日（月）全校朝会　保護者会（３・４年）
避難訓練（清掃時）
９日（火）読み聞かせ（１～３年）
保護者会（２・６年、わか竹学級）
１０日（水）音楽朝会　クラブ
１２日（金）社会科見学（３年）
１７日（水）たてわり集会　委員会（５・６年）
１８日（木）給食終
１９日（金）１学期終業式
２２日（月）～３１日（水）個人面談
２３日（火）～３０日（火）夏季水泳指導
**８月２６日（月）２学期始業式**
２７日（火）プレ中学生体験（６年）

**７月のめあて　　生活　１学期を振り返り、夏休みを充実させよう**
**安全　暑い日の安全について考えよう**
**保健　身の回りを清潔にしよう**

## わか竹学級紹介

わか竹学級主任　主任教諭　落合　俊一

わか竹学級には現在、１～６年生まで１９人の子どもたちが在籍しています。

わか竹学級では、子どもたち、一人ひとりの課題に合わせた学習を行っています。内容は決して特別なものではなく、通常の学級と時間数は変わるものの、国語・算数・理科・社会などの教科学習を行っています。国語・算数については、４つのグループを編成し、少人数できめ細かい指導ができるよう心がけています。

一方でわか竹学級独自の取り組みとして、栽培活動を毎年行っています。今年は子どもたちから希望を聞き、大豆、ひまわり、ピーマン、トマト、スイカ、メロンを育てています。６月には一番に収穫できたピーマンを試食しました。ピーマンが嫌いな子も食べることができました。栽培を中心にして、これからも、観察や調べ学習、調理実習などを行っていく予定です。

## 学園サポーターとともにつくる学び

まちが大すき　たんけんたい

第２学年生活科担当　教諭　柳下　将

生活科「まちたんけん」では、地域の方々と関わったり、公共施設を利用したりすることを通して、自分たちが住んでいる地域への親しみや愛着を深めることを目標に学習しています。先日は、学区内を３日間かけて、見て回りました。普段慣れ親しんでいる地域のまだ知らないことを発見しようと、子どもたちも一人一人が主体的に取り組んでいました。

６学級１７０人を越える子どもたちの安全を守るためには、学園サポーターの皆様のご協力が欠かせません。毎回一緒に歩いていただき、安全に行って帰ってくることができるように声をかけたり、見守ったりしてくださっています。

これからは、クラスをグループに分け、詳しく調べてみたい場所に行きます。そこでも、学園サポーターのご協力をお願いする予定です。ぜひよろしくお願いいたします。

## 開園１０周年記念事業

学園歌レリーフ作成

図工専科　教諭　直本　鉄平

今年、令和元年（2019 年）は、高山小学校開校 60 周年、また三鷹の森学園開園 10 周年となります。この記念すべき年に、図工の授業では、学園歌の木彫レリーフに取り組みました。制作にあたるのは、平成 30 年度と令和元年度の６年生。彫刻刀による「浮き彫り」の技法にチャレンジしています。安全管理のために、授業には学園サポーターの皆様にも入っていただいています。

平成 30 年度分の制作は完了し、この６月に令和元年度分の制作に入りました。完成は９月を予定しており、体育館のステージ脇の上手側壁面に設置されます。

６年生には「体育館に永く飾られる作品づくりに携われる幸運に恵まれたので、自分たちの真剣な取り組みが作品に刻まれるよう頑張っていこう」と言葉をかけ、指導に当たっています。見ごたえのある立派な作品になると思います。楽しみにお待ちください。

## ふれあい月間

優しく温かい仲間作りを目指して

生活指導主任　主幹教諭　関口　佳美

東京都では、子どもたちの健やかな成長を見守るために、毎年６・１１・２月を「ふれあい月間」と位置付けています。本校でも、アンケート調査をもとに児童の気持ちに寄り添い、いじめやその他の悩みの早期発見と解決に取り組んでいます。

いじめの防止は、「いじめ防止対策推進法」で決められたとても大切な取組です。本校では、子どもたち自身が、優しい人間関係を望む気持ちを育てたいと考えます。そして、気持ちの良い仲間作りに必要な、寛容で温かいコミュニケーションの方法も、子どもたちと一緒に考えていきます。

６月は、絵本（「わたしのいもうと」「わたしのせいじゃない」）を使って、「いじめがいかに悲しいことか」を伝えました。１月は、仲間の個性を理解し、尊重する取組を、２月は仲間へ感謝を伝える取組をすすめていく予定です。